

伊佐沢の久保ザクラ (いさざわのくぼざくら)

長井市大沢上伊佐沢字蜂屋敷2021

(案内略図)



長井市立伊佐沢小学校校庭の一隅にあるエドヒガンの老木で、幹の部分は周囲8mを超しており、全く空洞化しているが、数十本の支柱に支えられ、大枝が四方に張って今も桜の季節には見事な花をつけ、人々の目を楽しませてくれている。

この桜は、坂上田村麿とこの地の長者久保氏の娘玉女との悲恋物語もあって「お玉桜」の称もある。

大正13年2月9日山形県で最も早く国指定天然記念物に指定されている。

(山形県森林協会)



伊佐沢の久保ザクラ
 樹高：約40m、幹の直径：約8m、樹齢：約100年、所在地：山形県長井市大沢上伊佐沢字蜂屋敷2021

文 化 庁
 山形県教育委員会
 長井市教育委員会

国指定天然記念物
伊佐沢の久保ザクラ
 エドヒガンの巨木で自樹り九メートル、天保弘化年間(約五十年間のころは、枝が四反歩(約四千メートル)に広がり「四反桜」の名で親しまれていた。久保ザクラに関する伝説には、征夷大将軍坂上田村麻呂が当地に立ち寄ったさい、地元の嶺お玉と忠告の仲になつたが、田村麻呂の側近お玉が亡くなったため、桜を造つて継がせたのが久保ザクラであるといひ、また戦国時代当地に住む伊達の家臣藤島守隆が、妻お玉と子を亡くし、その供養のために植えたのがこの桜であるともいふ。現在桜の幹の中心部は朽ちて空洞化しており樹齡の特定は難しいが、推定樹齡約千四百年と言われている。地元のあたたかい保護を受け、毎年四月下旬ころ枝いっぱい紅色の美しい花をつけている。

【森林やまがた61号(2002年4月)記載】